

精米しても胚盤が残りやすい水稻品種 「きんのめぐみ」

*「きんのめぐみ」は、精米時に胚盤が残りやすく、「金芽米」*注)の加工に適している。

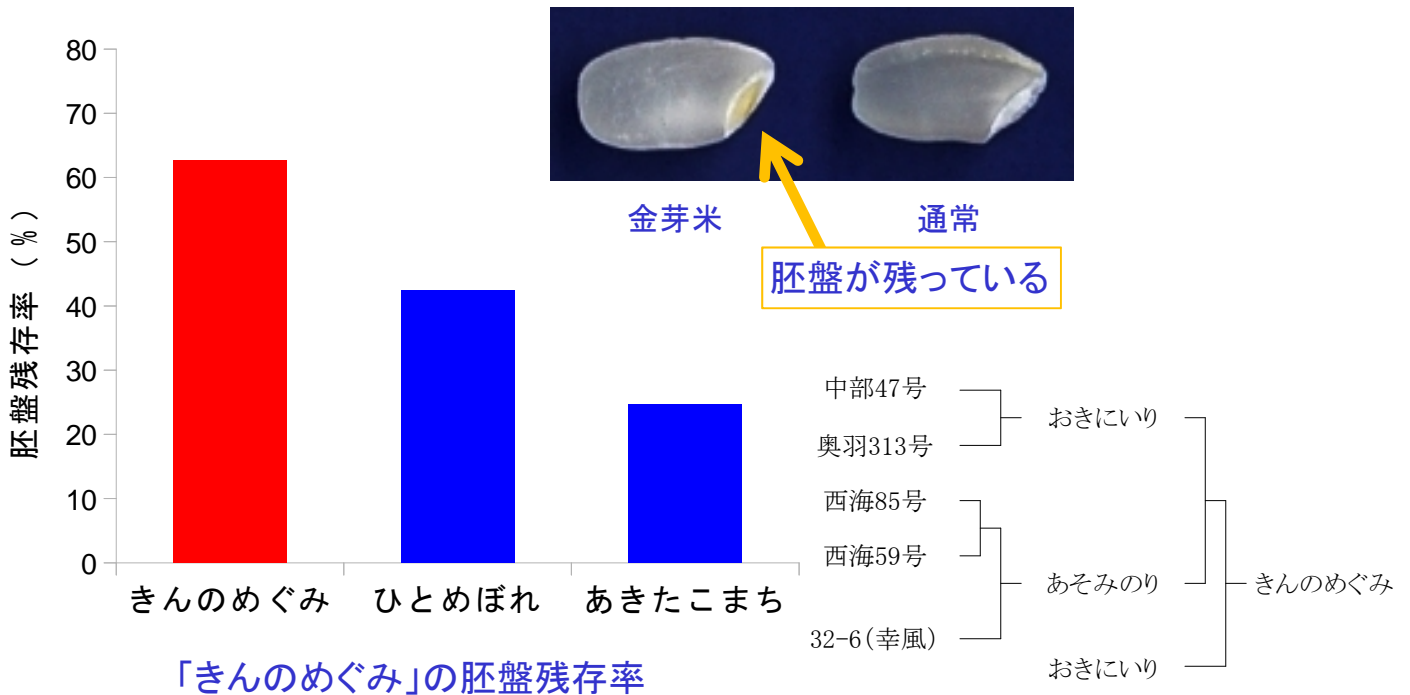
*出穂期は「ひとめぼれ」よりやや早いです。

*倒伏に強く、いもち病に強く、耐冷性も強い品種です。

【栽培適地】東北中部および東北中部以南の中山間地

品種名	出穂期 (月.日)	稈長 (cm)	玄米重 (kg/a)	同左 比率(%)	玄米 千粒重(g)	玄米 品質	精米 白度	食味
きんのめぐみ	8.04	88	62.7	101	24.9	上下	44.4	上中
ひとめぼれ	8.04	87	62.0	(100)	22.8	上中	42.4	上中

供試年:平成16~22年、栽培地:秋田県大仙市、移植時期5月17~22日、栽植密度30×15cm、施肥量:窒素成分0.9kg/a
玄米重は51.1~71.7kg/a、精米白度は平成22年のデータ。



＜ 種子の入手に関するお問い合わせ先 ＞

東洋ライス株式会社
〒104-0061 東京都中央区5-10-13
TEL 03-3572-7550 FAX03-3572-7551

品種に関する問合せ先

(独)農研機構 東北農業研究センター
水田作研究領域 稲育種担当
TEL 0187-66-2773

注)金芽米は東洋ライス株式会社の登録商標です。